フォト句会 2025年4月度報告

開催日: 4月8日(火)

時 間:15時30分~17時30分

出席者:7名

写真出題:新田

付け句「夜の公園の電話ボックス(出題;新田)



付け句「夜の公園の電話ボックス」: 出題:新田

1位)テレカ手に昭和は遠し長電話 新田由紀子

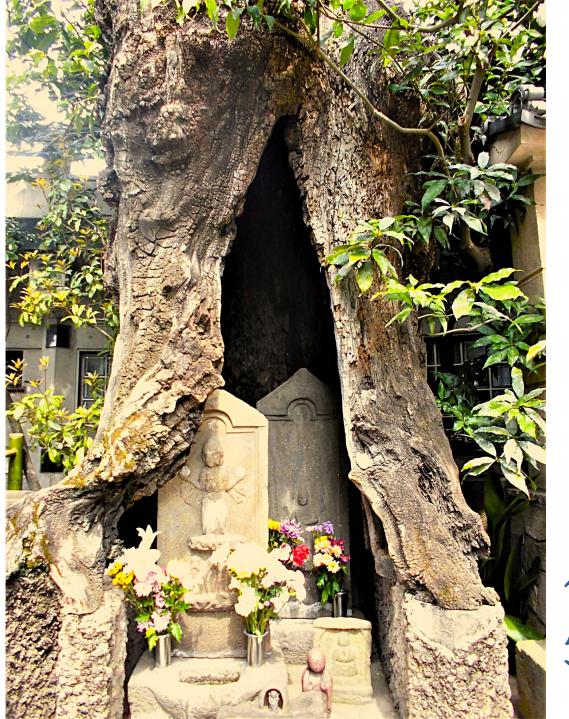
テレフォンカードの残額を気にしながら電話した頃が懐かしい。

2位)このベンチいつもここには貴方の影 矢澤 正二 公園で一緒に過ごしたあの頃の記憶がよみがえる。

3位)

誰もいないのにベルが鳴る恐怖 晃也 中村 東京は眠らぬ街よお母さん 長尾 進一郎 昌康 硬貨持ちふるさとの声聞きに来る 松田 矢澤 午前O時約束のときすでに過ぎ 正二 昌康 三陸のボックス死者と話す場所 松田 怪しげな電話ボックス覗き込む 清水 勝

自由題



大欅 生命力に神宿る

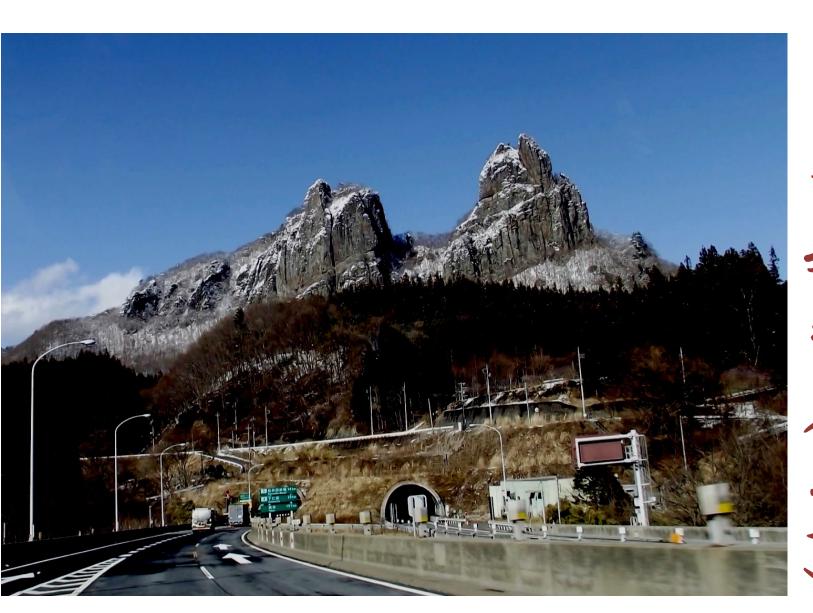
勝



キタキツネ



春寒や電節和む (鬼ニ)



岩肌に残雪の 見ゆ 鬼也



抜かれ なべずでに たまでエニ

自由題 寸評

- 1)大欅 生命力に神宿る 清水 勝 大木の空洞に神を祭った不思議な空間。
- 2) モデル料代わりに何か食料を 松田昌康 キタキツネと対話を交わした貴重な瞬間。
- 3) 春寒や電飾和む首都の夕 安藤 晃二 高層ビルのライティングをシャープに捉えた。
- 4) 岩肌に残雪の見ゆ裏妙義 中村 晃也 青空をバックにそそり立つ山の迫力を表現。
- 5)抜かれずによくぞここまで頑張った 矢澤正二 なぜか一株だけ残された作物の存在感。